

京都支部

京都支部

合計額 14,288,262 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2009	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2009.08.06	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇分野の日本研究専門家や学生を対象に京都芸術センターが毎年夏に行う日本の伝統芸能集中講座。3週間の集中的な稽古・指導を受けた参加者たちが成果を市民に披露する発表会を、京都支部が同センターと共催
2	DANCE OF DEATH～生きるよろこび～	京都市	京都府立文化芸術会館	マリ子ダンスシアター	2009.09.22～2009.09.23	外務省の「日本・ドナウ交流年2009」の一環である、日本・ハンガリー国交回復50周年記念事業として開催。ハンガリー政府より招へいされたバル・フレナック（コンテンポラリーダンサー）、京都市聴覚言語障害センター「若木寮」の寮生、一般公募されたダンサーによるパフォーマンス。共生と共存をテーマに、あらゆる生命が生きることの喜びをダンスを通し表現。共生共存をしながら平和と愛のために生きるメッセージを、多文化が共生する京都から世界に発信することを目的に実施
3	国際交流のタベー 能と狂言の会	京都市	金剛能楽堂	財団法人金剛能楽堂財団	2009.10.26	京都をはじめとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、関西所在の各国総領事館員等）に、日本の伝統文化にふれてもらう機会を提供することを目的に、毎年秋に開催。1974年から実施し、平成21年度で36回目。演目は、狂言／大蔵流・茂山千五郎「太刀奪」、能／金剛流・金剛永謹「通小町」

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	2009年度京都支部講演会(第1回)	京都市	京都国立近代美術館	京都国立近代美術館	2009.05.29	国際交流基金フェローのゲアハルト・ラインス（ドイツ／平成20年度フェロー）が、日本滞在中の研究成果をセミナー形式で発表。テーマは「日本の暦文化」
5	2009年度京都支部講演会(第2回)	京都市	立命館大学明学館	立命館大学国際関係学部	2009.06.30	国際交流基金フェローのデヴィッド・ジェロム・パトナム（スイス／平成20年度フェロー）が講演会を開催。本件は、立命館大学との連携事業。国際関係学部の授業に組み込む形で、海外における日本研究の事例紹介という位置づけで実施。テーマは「日本の伝統文化の魅力～スイス人研究者から見た歌舞伎、能の世界～」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	2009年度京都支部講演会(第3回) イメージの相互作用：隣国認識の国際関係学 第1回:「ナショナリズム」の再発見: 東アジアの文脈から	京都市	立命館大学 恒心館	立命館大学 国際関係学部	2010.01.16	国際交流基金フェローの馬銘(中国/平成21年度フェロー)と、立命館大学国際関係学部の教員や院生とが共通のテーマを各々の観点から論じる初めての試みとして共催ワークショップを開催。馬がゲスト・スピーカーとして報告の後、立命館大学側から院生が報告を行い、教授がコメント・統括を行った

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本紹介等文化映画上映会	京都市	京都市国際交 流会館	財団法人京都 市国際交流協 会	2009.09.01 ~ 2009.11.13	財団法人京都市国際交流協会設立20周年記念事業の一環として同協会と共催にて開催。在住外国人日本研究者や留学生等が日本理解を深めることを目的に、日本の伝統文化を紹介する映画(基金所蔵の短編作品50本、英語ナレーション付き)を上映
8	外国語字幕付き日本映画上映会	大阪市	財団法人大阪 国際交流セン ター	財団法人大阪 国際交流セン ター	2010.01.15 ~ 2010.03.19	映画を通して日本の生活や文化を外国人に紹介することを目的に日本の劇映画の名作をシリーズで上映。『たそがれ清兵衛』(10.01.15)、『トウキョウソナタ』(10.02.12)、『日本の黒い夏-冤罪-』(10.3.19)を上映
9	日本文化映画上映会:映像に見る京都の伝統美	京都市	京都市国際交 流会館		2010.02.17 ~ 2010.02.18	映像を通じて日本の伝統文化への理解と知識を深めてもらうことを目的に、特に「京都の伝統美」をテーマに開催。『京都御所』、『桂離宮』、『修学院離宮』(10.02.17)、『利休の茶』、『和菓子:その美と心』(10.02.18)を上映

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ニュースレター『国際交流基金(ジャパンファウンデーション)京都支部ニュースレター』の発行	2009.07.01 ~ 2010.03.31	国際交流基金京都支部の事業を紹介するニュースレター。年4回発行(但し、平成21年度は夏号より創刊したため、2009年8月、11月、2010年2月の3回発行)

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	フェローの集い	京都市	京都市国際交 流会館特別会 議室	財団法人京都 市国際交流協 会	2009.06.12 ~ 2009.11.27	国際交流基金フェロー同士ならびにJFサポーターズクラブ会員や関係諸機関とのネットワーク構築をめざし、簡素な茶話会形式での会合を年2回開催(09.06.12、09.11.27)。フェローの出席率はほぼ100%。また日本側関係者(外務省関西担当大使、大学、文化・芸術機関、報道関係者)が多数出席したことで、ネットワーク構築に効果的な事業となった

京都支部

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
12	中国建国60周年、来日芸術活動10周年記念 宓冬瑩個展「旅途・詩情・画意」	特定非営利活動法人京都藝際 交流協会	2009.05.27 ～ 2009.05.31	中国建国60周年を記念し、日中芸術文化交流の一環として、 中国政府の「日中芸術交流大使」の称号を持つ女流画家、宓 冬瑩の展覧会を北京で開催。画業の成果を披露して日中文化 交流の意義を伝え、両国の芸術文化交流を益々発展させるこ とを目的に実施する事業に対して国際交流基金京都支部の後 援名義を付与して支援
13	YOUNGER ARTIST #9	YOUNGER ARTIST #9	2009.08.04 ～ 2009.08.16	関西所在の芸術系大学および大学の芸術コースに在籍する芸 術活動を自己の生きる志にしようと望む学生たちの呼びかけ に賛同し、自主的に企画実行する9名の作家グループ（ヤン ガーアーティスト）の連合展に対して国際交流基金京都支部 の後援名義を付与して支援。参加大学は京都市立芸術大学 他、計5大学。今年が第9回目の開催
14	第61回毎日書道展関西展 国際交流デー	財団法人毎日書道会関西支部	2009.08.08	日本を代表する書家の作品や、関西の入賞・入選作品約2,200 点を展示する第61回毎日書道展関西展（09.08.05～09.08.09: 京都市美術館で開催）において、日本の伝統文化の一つであ る書をより深く理解してもらうことを目的に、外国人を対象 とした作品解説会とワークショップを実施する事業に対して 国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
15	2009京都国際文化協会エッセーコンテスト 《私の見た日本》	財団法人京都国際文化協会	2009.09.26	日本在住の日本語を母語としない人々から、日本やその文化、 社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対 比、あるいは経験に基づいたエッセーを、国際交流団体や大 学、専門学校を通じて全国から募集。エッセーは日本語の部 と英語の部に分け、それぞれの優秀作品の作者6名を京都に 招いて表彰すると共に、発表の機会を提供。一般参加者との 交流を深めることを目的に実施する事業に対して国際交流 基金京都支部の後援名義を付与して支援
16	寿恵更紗 日加修好80周年記念～カナダ展～大自然に 魅せられて	特定非営利活動法人日本燦ク ラブ	2009.10.10 ～ 2009.11.18	独特の手描き更紗で世界的に評価の高い、芸術家であり特定 非営利活動法人日本燦クラブ顧問でもある、青木寿恵の作品 の中から、カナダの大自然をモチーフにした着物、額などを 日加修好80周年記念として特別に展示する事業に対して国際 交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
17	国際協力セミナー（関西大学国際部）	関西大学国際部	2009.11.21 ～ 2009.12.12	広く国際交流・国際協力の事例を市民に紹介することにより、 よりよい社会の構築に寄与することを目的に、関西大学 国際部主催にて「国際協力セミナー」を2日間にわたり実施す る事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して 支援。講演テーマ：「国際舞台で勝つ条件」（09.11.21）、 「国際社会で生き抜くための危機管理」（09.12.12）

京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
18	国際情勢講演会「中東和平の展望と課題」 (きょうと北部21世紀セミナー)	財団法人京都府国際センター	2009. 11. 28	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図る事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。講演会テーマ「中東和平の展望と課題」、講師：鈴木敏郎(外務省中東アフリカ局長)、対談：四方八洲男(綾部市長)、立山良司(防衛大学校教授)、コーディネーター：須藤真志(京都産業大学教授)
19	第10回LAMP展 富者の万灯より貧者の一灯	特定非営利活動法人京都藝文化交流協会	2009. 12. 12 ～ 2009. 12. 25	1999年より年末恒例の展覧会として開催。和紙、金属彫刻、蔓編み、漆とさまざまなジャンルの作家が自分の素材を持って、灯り作品を発表する事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。2009年はスマトラ沖地震被災地への支援金として作品売上の一部を寄付
20	書と非書の際展 Part7	特定非営利活動法人京都藝文化交流協会	2010. 01. 09 ～ 2010. 01. 24	記号としての絵画、造形としての書、書家と画家の引く線の違いはどこにあるか。日本、中国、英国、フランス、アイルランドと東洋、西洋の視点からも検証。期間中、作家によるワークショップも開催。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
21	第25回毎日現代書関西代表作家展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2010. 01. 16	2010年で第25回目を迎える今回は、関西を代表する書家約300人の新作のほか、特別陳列として「幕末維新の書」をテーマに坂本竜馬、木戸孝允らの書を展示。一方、書を通じて国際交流を図るため、外国人対象に作品の解説を行い、実際に書道を体験してもらう「国際交流デー」を会期中に設定。この「国際交流デー」の事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
22	「ポーランド／日本現代写真交流展－Towards the Essence 2009-2010」国内展	「ポーランド／日本現代写真交流展」国内展実行委員会	2010. 02. 01 ～ 2010. 02. 14	1980年に初来日した東欧を中心に活躍する美術写真家、Jerzy Olekの、日本・ポーランド国交樹立90周年記念行事のひとつとして開催した交流展。2009年5月7日より在ポーランド日本大使館文化センターで実施した展覧会を東京及び京都にて開催する事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
23	国際理解講座 '10 台頭するロシア	財団法人京都府国際センター	2010. 02. 06 ～ 2010. 02. 27	国際化に関する分野の第一線で活躍している大学教授や専門家などを招いて、最新の世界情勢や国際関係、地域の国際化に関わる問題について分かり易く解説するセミナー事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。2010年2月6日「日本とロシアーその<近くて遠い>関係を考える」講師：藤本和喜夫(大阪経済法科大学学長)、同2月13日「ソ連からロシアへ：国民のアイデンティティを構成する映画」講師：イリーナ・メリニコワ(同志社大学教授)、同2月20日「ロシア経済は世界恐慌に耐えられるかー社会主義崩壊から20年ー」講師：大津定美(大阪産業大学客員教授／神戸大学名誉教授)、同2月27日「ロシアの歴史ー宗教から見てー」講師：松原広志(龍谷大学教授)